

福岡県篠栗町

ささぐり

議会だより
No.218



夢の中で宿題中



令和5年12月議会号

意見交換会(子育て支援中の皆さん).....	2
12月定例会.....	4
ここをどうする!?(5人が一般質問)	10

特集 意見交換会

助け、助けられるは お互い様

第29回 子育て支援中の皆さん

今回は、子育て支援に奮闘中のたけのこ児童館スタッフ、子育てをしながら子育て支援もしているファミリーサポート会員、子育てサロンスタッフの皆さんに、支援に対するそれぞれの想いを熱く語っていただきました。

子育て支援に取り組むきっかけは。

●（平山さん）長崎から篠栗に住み、子育てをする中で役場に「公園はないですか」と尋ねたら、児童館を紹介され子どもを連れて行ったのが第一歩ですね。

●（井上さん）私は転勤族で愛媛に住んでいた時から、ファミリーサポートセンターに登録していて、



井上 香さん
(ファミリーサポートセンター 会員)

地域とのつながりやお手伝いができたらいいなと思って。

●（村島さん）育休退園など諸事情を考え、仕事を辞めて育児をしていました。社会に置き去りにされた感覚でしたが、サロンの誘いがあり、やってみたんです。

問題や課題は。

●（平山さん）児童館を知らない家庭がたくさんあるので、もっと情報発信してほしい。ファミサポと学童の連携が大事になってくるのでは。

●（村島さん）サロンを楽しみにしているママさんたちが、たくさんいるんですけど、スタッフが足りなくてぎりぎりの状況なので継続

するのが難しいです。

●（井上さん）「まかせて会員」がぜんぜん足りていないんです。

よかったこと、うれしかったことは。

●（平山さん）町外の利用者から「篠栗に住みたい」と言われます。（笑）

●（村島さん）社会貢献活動の大事さを知ったり、精神の安定にもつ



村島 結実さん
(子育てサロン スタッフ)

ながりました。頑張れるのは、誰かのためになっているという思いがあるからです。

●（井上さん）ご年配の方とつながったことですね。今でもつながっていて助けられます。ママやお子さんからの「ありがとう」の言葉がとても嬉しいです。

勤めていた保育園で体調を崩して、いつも「すいません、すいません」って謝っていたら園長先生が「すいませんじゃないよ、ありがとうって言いなさい。今は苦しい立場かもしれないけど、順番でいつかあなたが周りの人を助ける順番が来るからね。だからありがとうって言いなさい」って、今でもその言葉で頑張っています。

気になっていることは。

●(井上さん) ファミサポへのお願い内容も多様化していて、対応が難しいです。

●(平山さん) 年配の方に支援に関わっていただいて、昔遊びとか取り入れてもらえばいいですね。

●(村島さん) いろんな世代の方に関心を持っていただくことが、大事ですし助かりますね。

皆さんに知ってほしいことは。

●(平山さん) ファミサポで自宅で預かるのが難しい場合は、児童館が利用できますよ。また、不登校の居場所づくりの取り組みもはじめていますよ。

日曜保育も児童館のどこかでやっています。授乳室が完備されている館もありますよ。

あったらいいなと思うサービスやアイデアは。

●(井上さん) 「まかせて会員」の預かりで、空き家やオアシス篠栗の一室を利用できないですかね。集団託児ができますよね。

●(村島さん) 夜間のサービスがあったらいいなと思います。「助けてほしい」と思うのは夜が多いんですね。夜でもファミサポみたいなところがあったらいいですね。

町や議会に望むことは。

●(平山さん) 児童館のことを知らない人がたくさんいるので、分かりやすく発信してほしいですね。

●(村島さん) 利便性がよくて、自然がいっぱいなのを活かされていないと思います。ベビー用品とかのフリーマーケットなど、子どもの集まるイベントを企画すれば地域が活性化すると思います。

町主催の大人も子供も集まるイベントを開き、いろんな交流が生まれるといいですね。創業祭みたいに大々的に宣伝してほしいですね。

●(井上さん) 篠栗町の人は温かいとよく言われますよ。町に人を呼

び込むイベントをやってほしいですね。

2022年、総務省の調査によると未就学児の育児をしながら働いている人の割合は85.2%に上り過去最高である。子育ては、ステージが変わることによる課題が出てくる。

ひとり親家庭や夫婦共稼ぎ家庭が増加する中で、地域の人同士が子育てを通して交流を深めることは、地域コミュニティを形成するうえでも大事である。いろんな現場の声が聞けて勉強になりました。ありがとうございました。



平山 雅子さん
(たけのこ児童館 スタッフ)



詳しくは
社会福祉協議会
ホームページまで

※ファミリーサポートセンター

育児の援助を依頼したい人(おねがい会員)と育児の援助を提供する人(まかせて会員)の会員制の相互援助活動組織。篠栗・久山ファミリーサポートセンターは、篠栗町および久山町の広域で事業を実施している。



詳しくはコチラ

※サロン(ふれあい・子育てサロン)

子育て中の親子が気軽に集い、様々な活動を通して交流を深め、互いに支え合う仲間づくりの場を支援している。

地域の皆さまの協力のもと公民館を借りて、地域のお母さんたちが中心となって子育てサロンを開催している。



詳しくはコチラ

12月定例会

12月4日から12日まで9日間の会期で開催しました。
総務建設・文教厚生両常任委員会、予算特別委員会において、町長提案の条例案や補正予算案など8議案を審査しました。
各議案に対する賛否一覧を7ページに掲載しています。

条例

出産被保険者の
保険税を減額篠栗町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
(議案第86号)

本議案は、篠栗町国民健康保険の出産被保険者について、産前産後期間に係る国民健康保険税の減額を定めるため本条例の一部を改正するもの。

令和6年1月1日から施行。

【対象者】

令和5年11月1日以降に出産予定の国民健康保険被保険者（出産被保険者）

※妊娠85日（4か月）以上の出産が対象（死産、流産、早産および人工妊娠中絶の場合を含む。）

※出産予定日の6か月前から届出ができ、出産後の届出も可能

減額となる産前産後期間

単胎の場合	多胎の場合	
		3か月前
		2か月前
		1か月前
出産予定月	出産予定月	出産予定月
		1か月後
		2か月後
		3か月後

【減額方法】

出産被保険者がその年度に納める世帯の国民健康保険税の所得割額と均等割額（低所得世帯の軽減適用がある場合は軽減後の額）を1/12した額に産前産後期間（単胎妊娠は最大4か月、多胎妊娠は最大6か月）を乗じて得た額を保険税額から減額。

概略図



出産被保険者が属する世帯



出産被保険者本人の
産前産後期間の保険税
（所得割・均等割）を一部減額

篠栗町葬祭場(天空会館) 社会福祉協議協会を再指定



指定管理者の指定について (議案第87号)

篠栗町葬祭場(天空会館)の指定管理期間が終了することから、引き続き篠栗町社会福祉協議会を指定するもの。

期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日
(5年間)



施設の改修が発生した場合、工事費用の負担について取り決めはあるのか。

軽微なものは、指定管理者が実施し、大規模な工事は町が負担することになる。

選定委員の構成は。
学識経験者1名、
専門的知識者2名、
副町長、担当課長の5名。



篠栗町葬祭場(天空会館)

町長の専決処分事項に住居表示に関する規定を追加



篠栗町長の専決処分事項の指定に関する条例の一部を改正する条例の制定について (発議第5号)

本議案は、住居表示に関する法律に基づく住居表示の実施、地方自治法第260条第1項の規定による処分、または土地の表示に関する登記に伴い、町の行政機関若しくは公の施設の位置の表示または行政機関の所管する区域その他の名称が変更された場合に、当該変更に対応するため、規定を追加するもの。

公布の日から施行。

～現在指定されている規定～

「条例の主旨を変更しない範囲の字句の修正又は法令の改正に伴う引用法令名、引用条項等の整理を行う条例の改正に関すること。」などがあります。

地方自治法第260条第1項…

市町村長は、政令で特別の定めをする場合を除くほか、市町村の区域内の町若しくは字の区域を新たに画し若しくはこれを廃止し、又は町若しくは字の区域若しくはその名称を変更しようとするときは、当該市町村の議会の議決を経て定めなければならないこととなります。

補正予算

各会計補正予算 (議案第88号～89号)

会計別の補正予算額は下記のとおり。

(万円未満四捨五入)

会 計	補 正 額	補正後予算額
一般会計	3億7261万円	125億4321万円
国民健康保険特別会計	932万円	28億4162万円

一般会計の主な歳入

地方交付税	6639万円
国庫支出金	2億8876万円

※一般会計補正予算の主な歳出は次のページ

一般会計補正予算の主な歳出

【教育費】各小中学校

特別支援学級増室関連備品購入費

2075万円

- ・電子黒板、教師用パソコン等購入費



Q & A

問 各小中学校における特別支援学級の増加により、校舎の分割で教室を賄えるのか。

答 今後の状況により、増設や別棟の検討をしていく必要がある。

【債務負担行為】*

庁舎耐震補強工事

3億円

- ・壁厚コンクリート増打ち
- ・耐震コンクリート壁設置

など



篠栗町役場

Q & A

問 庁舎の移転・建設の話はどうなったのか。

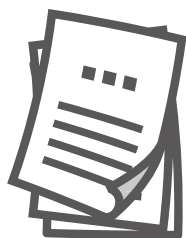
答 現庁舎において、庁舎内での工事施工により、新耐震にかなう補強工事が可能であるとの結論に達した。

【民生費】

電力・ガス・食料品等
価格高騰緊急支援給付費

2億4973万円

- ・物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯などを対象に1世帯あたり7万円を支給するもの。



【情報政策費】

特定健診・特定保健指導改正に伴う
システム改修業務委託料

1513万円

- ・厚生労働省「第4期特定健診・特定保健指導」における検査項目等の変更に伴う健康管理システムの改修委託料



【債務負担行為って?】

契約年に基づき、翌年度以降予算が必要な事業に対しその期間の予算を確保する行為

議決結果一覧表

(万円未満四捨五入)

	議案	議案名 / 内容	議決結果
11月臨時会	77	篠栗町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について 人事院の給与改定に関する勧告により、国に準じた措置を講じる必要が生じたため、本条例の一部を改正するもの	全員賛成原案可決
	78	令和5年度篠栗町一般会計補正予算（第6号）について 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3620万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ121億7061万円とするもの	全員賛成原案可決
	79	令和5年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ120万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ28億3230万円とするもの	全員賛成原案可決
	80	令和5年度篠栗町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ61万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ4億9160万円とするもの	全員賛成原案可決
	81	令和5年度篠栗町水道事業会計補正予算（第2号）について 水道事業費用の予定額に、77万円を追加し、総額を5億5146万円とするもの	全員賛成原案可決
	82	令和5年度篠栗町流域関連公共下水道事業会計補正予算（第2号）について 下水道事業費用の予定額に、61万円を追加し、総額を8億8588万円とするもの	全員賛成原案可決
12月定例会	83	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 改正の主な内容は、育児休業をしている職員の勤勉手当の支給に関し、会計年度任用職員を除外している規定を削るもの	全員賛成原案可決
	84	篠栗町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について 改正の主な内容は、会計年度任用職員の給与に勤勉手当を追加し、支給に係る規定を追加するもの	全員賛成原案可決
	85	篠栗町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例及び篠栗町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 改正の主な内容は、特定教育・保育施設の運営基準を定める際の従うべき基準を整理するもの	全員賛成原案可決
	86	篠栗町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について 篠栗町国民健康保険の出産被保険者について産前産後期間に係る国民健康保険税の減額を定めるため本条例の一部を改正するもの	全員賛成原案可決
	87	指定管理者の指定について 篠栗町葬祭場の現指定管理者、社会福祉法人 篠栗町社会福祉協議会が令和6年3月31日で指定期間終了となるため、再指定を行うもの	全員賛成原案可決
	88	令和5年度篠栗町一般会計補正予算（第7号）について 歳入歳出それぞれ3億7261万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ125億4321万円とするもの	全員賛成原案可決
	89	令和5年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について 歳入歳出それぞれ932万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ28億4162万円とするもの	全員賛成原案可決
	発議第5号	篠栗町長の専決処分事項の指定に関する条例の一部を改正する条例の制定について 専決処分にすることができる事項について、住居表示に関する法律に基づく住居表示の実施による変更等に対応するため関係条例の改正を行うことを追加するもの	全員賛成原案可決

総務建設常任委員会

総務建設常任委員会視察研修

(令和5年10月19日)

西菱電機株式会社（東京都）

・防災アプリの仕組みと活用状況

スマートフォンを活用した、防災アプリの仕組みと導入自治体の活用状況を視察した。

防災情報や災害情報、避難所情報、ハザードマップなどアプリ内で情報収集が可能である。現行の防災行政無線、SNSとの連動も可能。非常時のスピード感のある情報収集の重要性を再認識した。本町でも費用対効果で検討する必要があると思われる。



文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会視察研修

(令和5年10月19日)

横須賀市役所（神奈川県）

- ①エンディングプラン・サポート事業
- ②終活情報登録伝達事業

頼れる家族がいないと、人生最終版は困難に直面する。終活情報を役所が関れば認識を地域で共有され、関係機関の連携はうまく運ぶ。本町に可能なものを提案していきたい。



総務建設・文教厚生常任委員会

総務建設・文教厚生常任委員会研修

(令和5年10月20日)

東京臨海広域防災公園視察（東京都江東区）

発災後72時間をどう生き残るかという防災体験学習ツアーや、被災地や避難所の様子を再現した展示や防災グッズを視察。実体験から学ぶ防災訓練や防災教育の重要性を再確認した。



東京臨海広域防災公園の防災体験ゾーン

広報広聴委員会

全国町村議会議長会主催
町村議会広報研修会

(令和5年9月26日～27日)

(東京千代田区 日経ホール)



研修では、権利侵害等の法律知識や広報紙面の企画編集ノウハウ、ターゲット設定などデザインのプロセスを学んだ。今回得た貴重な知見を活かし、広報広聴活動を充実させていきたい。

福岡県町村議会
広報研修会

(令和5年11月22日)

(博多サンヒルズホテル)



広報紙制作における住民に伝わる紙面編集や表現などについて知識を得た。午後からは、各議会ごとに広報紙面のアドバイスを受けるクリニックがあった。なぜ議会だよりを発行しているのか、活動内容をどうやって伝えるのかなど基本に立ち返ることの重要性を感じた。

その他議員研修

森林・林業・林産業活性化九州大会

(令和5年10月31日)

(熊本城ホール)



森林は、木材の供給、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全等の多面的な機能の発揮を通じて、人々の日常生活に様々な恵みをもたらしていることを再認識した。
また、地域社会の活性化には、人と人の繋がりと豊かな表現(デザイン)が力を発揮することを学んだ。本町でも提案していきたい。

議会関係ハラスメント根絶のための議員研修

(令和5年11月13日)

(オリエンタルホテル福岡)



議会全体でハラスメントについて理解を深め、意識改革を行い、防止対策を徹底することが重要である。

いい質問ですか!?

5人が一般質問

1. 太郎良 瞳 議員…………… 11

・買い物弱者支援を問う

2. 横山 和輝 議員…………… 12

・やまやの無断駐車を禁止すべきでは

3. 崎山 佐穂 議員…………… 13

・デジタル改革の方針を問う

4. 吉本 文枝 議員…………… 14

・HPVワクチン接種の推進を
・男性のHPVワクチン接種費用の助成を

5. 品川 静 議員…………… 15

・不登校児童生徒に『学びの機会』の充実を

一般質問とは、議員が執行部に、その町の行政全般の事務執行状況や政策方針などについて、報告や説明を求め、所信や疑問を尋ねることです。

年4回開催される定例会の中で行うもので、臨時会では行いません。

ここに掲載したのは要約で、質問者本人の原稿をもとに作成しています。
議事録の全文は議会事務局・町立図書館・クリエイト篠栗・オアシス篠栗・各公民分館および町ホームページで閲覧できます。

買い物弱者支援を問う

町長「課題解決に向けた努力をしなければ
ならない」



太郎良 瞳

全国的に高齢化が進み、外出や買い物に行くことが困難になり、買い物弱者が増えてくると思われる。

オアシスバスを利用している人や、移動販売を利用している人もいるが、不便さを感じている人は少なくない。

高齢者が買い物などに出掛けなくなると孤独を感じたり、食生活において栄養が偏り健康に害を及ぼすことも出てくると思います。次のことを尋ねる。

問

買い物弱者支援や移動販売の実態を把握しているか。

答【産業観光課長】

買い物弱者については、福祉部局や、商工会などの関係団体と情報を共有し、必要に応じて実態調査を実施していきたい。移動販売の実態については、町や商工会においては把握できてない。

問

それぞれの地域やニーズにあった支援の方法を考えているか。

答【産業観光課長】

買い物弱者支援については、関係部局が横断的に連携し、行政、民間事業者、NPOなどの官民協働で継続的に取り組む方針を検討していく。

移動販売事業参入の問い合わせがあった際は、福岡県移動

スーパー参入促進費補助金などの、国県の補助金の活用を推奨している。

問

買い物等、家から出やすい環境整備のため、コミュニティ

バスやオンデマンドバスなどの導入を考えているか。

答【まちづくり課長】

糟屋中南部圏域において、地域公共交通対策が協議されており、近隣町との広域的な交通なども踏まえ、町の環境整備は、町民の方々の移動の利便性を考慮し、オアシスバス活用なども含め、検討していく。

問

買い物支援をしているボランティアのことなど幅広く考えているか。

答【町長】

社会福祉協議会がリーダーシップをとり、さまざまな取り組みに対応している。

今後は、ボランティアが幅広くビジネスとして対応できるような取り組みを支援していく流れになるのではないかと考えている。NPO法人や民間の小売店などが、助成金等を使って支援ができるような高齢者に対する手当をしっかりといかねば

ならないと考える。

福祉バスオアシスバス

オアシス篠栗利用者用の無料巡回バス。利用は道路運送法上、オアシス篠栗利用者など特定の方に限られる。

コミュニティバス

運行については、警察との協議が必要となる。運賃は有料だが、誰でも利用が可能で、どのバス停でも乗り降り自由となる。

オンデマンドバス

相乗りで利用する予約制のバス。既定の経路や時刻表はないが、目的地近くでの乗降が可能。運賃は有料。

やまの無断駐車を 禁止すべきでは

町長「相互利用の一環、行う意思は全くない」



横山 和輝

るのではとしたりもする。強く抗議し、乗り入れを禁止すべきではないか。

答【まちづくり課長】

国有地については、福岡国道事務所に確認したところ、「国としては駐車場用地として占有の許可しており、だれかれを問うものではない」との回答であった。

やまは9月から社員車両削減対策として、篠栗駅からの送迎者対応が行われている。町としても、さらなる対応を訴え、かつ対策を検討していく。

問

造成費と舗装費で4億円以上の町費を費やして整備したところを4月から半年以上無断駐車している。検討ではなく、今すぐにも利用できないようにすべきでは。

答【町長】

イベントの際には、やまの土地も含めて使わせてもらっているという相互利用によって、

町の交流人口、いろいろな対応をして、にぎやかさを取り戻そうとしているもので、一つの意見として承る。

博多駅のやまのブースでは、篠栗町のパンフレットを置いてもらっている。

さまざまな相互利用の一環としてやっている。

問

町の宣伝をしているので、駐車場は利用していいと聞こえるが、ただロープを張って、ここがイベント広場、来訪者駐車場と分ければいいだけではないか。

答【町長】

区分けする意思は全くない。

- ① やま外構
- ② 団地来訪者用駐車場（国有地）
- ③ 団地イベント広場兼駐車場（町有地）
- ④ やま排水処理施設
- ⑤ やま駐車場



篠栗北地区産業団地駐車場等整備図

問

黙認している状況を見ると、町長がやまに弱みを握られているのではないか。

答【町長】

自信をもって、弱みを握られているようなことはない。



崎山 佐穂

デジタル改革の方針を問う

財産活用課長「ITによる効果的な業務改善を追求し、住民サービスの向上に努めていく」

DXとは進化したIT技術をもつて人々の生活をより良いものへと変革させるという概念である。

モバイル社会研究所によると、2023年の時点で国内の携帯所有者のうちスマートフォン比率は96.3%、統計上1番利用の少ない層の70歳代では79%となっている。

また、町の公式LINEの運用が約2年以上経過している。人口比の利用率が33パーセントと糟屋郡内1位である。このように住民もITを活用していると考える一方で、オンライン申請はあまり進んでいない。

そのことを踏まえ、2つ質問する。

問

保育所の申し込みや各種施設の利用申請をオンライン化することで、町民の利便性や行政の業務効率上がるのではないかと思います。

今後、オンライン申請を進めていく予定か。

答【財産活用課長】

保育所の申請は公平かつ正当な審査を行うとともに、家庭の状況に対応できるよう対面で申請書類を確認し受理している。

来庁の負担を軽減する目的で、デジタル庁の申請システム「ぴったりサービス」があるが、対面での確認作業を要するためオンライン申請は実施していない。社会体育施設の予約状況はホームページで確認できるがオンライン予約に至っていない。オンライン申請を導入している自治体も増えているため現状の把握に努め、その他の施設に関しても導入を考えていく。

問

DXを進める上で、デジタル

に強くない住民を置き去りにしないための対策が必要である。町での取り組みは。

答【財産活用課長】

福岡工業大学の学生による高齢者向けのスマホ講座や、総務省のデジタル活用支援推進事業を活用したスマホ講座を開催予定。社会教育課も令和5年に3回スマホ教室を実施し好評だった。

今後もスマホ利用に関する不安を少しでも払拭していく。町全体でITによる効果的な業務改善を追求し、住民サービスの向上につながるよう進めていきたい。

※DX（デジタルトランスフォーメーション）

デジタルが浸透して、今まで一般的とされていた事を超えて世の中が便利に変わっていくこと。



開庁時間に来庁しなくても、施設の申請やサービスが受けられる事で利便性が向上する。

HPVワクチン接種の推進を

健康課長「未接種の方の予約方法など
検討していく」



吉本 文枝

問 学校で子宮頸がんは予防できると学ぶか。

答【健康課長】 子宮頸がんは特化していないが、がんの原因と予防について学ぶ。

問 保護者への周知は。

答【健康課長】 保護者にはチラシを配布している。町内の医療機関では、対象者に声かけなど協力いただいている。

問 今後オアシス篠栗での検診やイベントでの啓発、広報やホームページなどで広く周知、推進していく。

問 未接種の方への再通知や予約の仕方の工夫は。

答【健康課長】 一部医療機関では24時間ウェブ予約できる。予約方法など工夫できないか検討していく。

問 対象者ご自身の接種状況の確認方法は。

答【健康課長】 母子手帳、マイナポータルのアプリ。または、オアシス篠栗

問 母子手帳、マイナポータルのアプリ。または、オアシス篠栗

問 HPVが関係する男性の疾病は。

答【健康課長】 中咽頭がん・陰茎がん・肛門がん・尖圭コンジローマなど。

問 ワクチン接種で期待できることは。

答【健康課長】 HPVは男性もかかる病気のため、性交渉での感染がほとんど。ワクチン接種により、これらの病気を予防することが、自分とパートナーを病気から守ることにもなる。

問 男性へのHPVワクチン接種は、町民の健康を守り、将来の子育て世代への支援策にもなる。費用の助成をしようか。

答【健康課長】 男性へのHPVワクチン接種は、町民の健康を守り、将来の子育て世代への支援策にもなる。費用の助成をしようか。

男性のHPVワクチン接種費用の助成を

健康課長「国や他の自治体の動向を
注視し今後検討していく」

の健康課に問い合わせると予防接種履歴情報を交付する。

問 男性へのHPVワクチン接種について、厚生労働省の審議会では効果や疾病負担が十分に明らかにされていない。現在、安全性が議論されている。

答【健康課長】 国や他の自治体の動向を注視し、今後、検討していく。

※1 キャッチアップ接種

HPVワクチン接種勧奨差し控えの間、公費での接種機会を逃した方にあらためて公費での接種の機会を提供すること。

※2 予防接種を完了するには、期間を置いて3回接種が必要なため半年程度かかる。

自己負担額は、9価ワクチンは約10万円。2価ワクチン・4価ワクチンは4～5万円となる。

不登校児童生徒に『学びの機会』の充実を

教育長「いろんな施設の関わりを
検討したい」



品川 静

問

全国の小中学校の不登校児童生徒数が約30万人と過去最多となった。

文部科学省は不登校対策CO-LO-PLANを公表し、取り組みの一層の充実に努めるよう通知していることを踏まえよう。

町内の不登校児童生徒の現状と傾向は。

答【教育長】

昨年10月現在で107名。コロナ禍での生活環境の変化や制限による友好関係の築きにくさなどを背景に多岐にわたる要因で増えている。

問

プラン目標に、教育支援センターの機能強化がある。現状、低学年には不向きのようなが認識は。

答【教育長】

今年度、特別支援教育相談員を配置した。現在は学習指導中心だが、不登校支援の情報発信やさまざまなサポートなど積極的な活用を考えている。

問

居場所として児童館の利用を始めているが、その状況と課題は。

答【教育長】

学びの場としての活用には限界があるが、一時的な居場所の提供として有意義だと考える。生きる力をつける場所として、いろんな施設との関わりは検討する必要がある。

問

保護者や児童生徒とのコミュニケーションや相談など、こ

ろの支援としてのオンライン活用の状況は。

答【教育長】

心の健康に焦点を当てたアンケートを計画している。

問

Zoomなどの環境は、非言語情報に有効では。

答【教育長】

各専門家を配置しているので、相談先の紹介も含め、窓口を検討したい。

問

用意されているものが多くあっても、機能していないのでは。

答【教育長】

保護者に、よりわかりやすく、子どもたちを守る支援体制を整えたい。

問

教職員は、対応すべきことが既に山ほどある。今以上の不登

校への取り組みには、かなりの負荷が懸念されるが対策は。

答【教育長】

トレーニングを受けた専門家が児童生徒や保護者の支援を行い、教員が教育活動に集中できるようにしている。

問

不登校が子どもを取り巻くさまざまな課題を表しているのでは。町としてどう考え、取り組むのか。

答【教育長】

教員による家庭訪問や面談、専門家を活用し、心情に寄り添うことを最優先に考えている。しかし、対応には限界があるという現実もあるため、民間との連携を強化し、相互に協力補完する体制構築が重要である。

輝く まちの宝



創業祭

2023

北地区産業団地イベント広場IRUGASAS
(イルガーサ) 創業祭2023が開催されました。

名前がSASAGURIを反対読みによって由来するこの広場からは、
米ノ山や若杉山をはじめ篠栗町を一望することができます。
新しい観光スポットにぜひ訪れてみてください。



旬花衆灯

生活様式の大きな変化を経験し、暮らしに対する価値観は、
どんどん変化していると感じて
います。

森林セラピーの研修で、「今、
森の中で生きている植物や生き
物たちは、環境に合わせて変化
することで、生き延びてきた存
在。その工夫の数々が、多様な
生態系を築いている。」という
話がありました。

自然豊かな篠栗町に暮らしなが
らも、尊い自然の営みを、意
識することは少ないかもしれ
ん。

変わるものと変わらないもの、
よりよく生きるための秘訣
を自然（自ずから然り）から改
めて学びたいと思います。

品川 静

3月議会は

3/4月 開会

3/6水 一般質問

の予定です

※ライブ中継を再開します。

発行責任者 議長 荒牧 泰範

議会広報広聴委員会 委員長 品川 静／副委員長 浦野 雅幸
委員 栗須 信治・村瀬 敬太郎・太郎良 瞳・吉本 文枝

令和6年2月1日発行

発行／篠栗町議会 福岡県糟屋郡篠栗町中央一丁目1番1号 TEL092-947-1390 FAX092-947-1442

印刷／株式会社三光